

(1) 病床規模／病床の種類別

- 令和9年度末時点で未導入見込みの54病院のうち、**100床未満で約5割、200床未満で約8割**となっている。
- 54病院のうち、**一般病床のみ、療養病床のみ、一般病床+療養病床の区分が2割以上**であり、精神科を有する病院で電子カルテ導入が進む一方、一般病院で未導入の病院が比較的多く残る見込みである。

区分		一般病院						精神科病院	計
病床数	病床	一般病床	○	○	○	○			
	療養病床	○	○			○	○		
精神病床	○		○		○		○		
400床以上	未導入見込み 病院数	0	0	0	0	0	0	0	0
200-399床	未導入見込み 病院数	0	1	1	1	3	2	3	11 20.4%
100-199床	未導入見込み 病院数	0	4	0	6	0	4	3	17 31.5%
20-99床	未導入見込み 病院数	0	6	0	13	0	5	2	26 48.1%
計	未導入見込み 病院数	0	11	1	20	3	11	8	54
		0.0%	20.4%	1.9%	37.0%	5.6%	20.4%	14.8%	100.0%

令和9年度末電子カルテ導入見込なし・不明の病院の状況について

(2) 開設者が保有する病院の状況

- 導入見込なし・不明の病院を有する開設者45法人等のうち、複数の病院を持つ開設者は5法人

区分	1病院のみ	2病院以上	計
開設者数	40	5	45
導入見込なし・不明の病院数	40	14	54

⇒複数の病院を持つ開設者には、直接、訪問や電話等によるアプローチを実施

(3) 開設種別

- 導入見込なし・不明の病院を有する開設者45法人等のうち、医療法人が約8割（36か所）

区分	医療法人	社会福祉法人	その他	計
開設者数	36	6	3	45
導入見込なし・不明の病院数	44	7	3	54

(4) 医療法人及び社会福祉法人の経営状況（医業損益及びサービス損益）

- 導入見込なし・不明の病院を有する42の医療法人及び社会福祉法人のうち、直近2年以上赤字が約35%（15か所）

直近1年赤字	直近2年以上赤字	直近2年黒字等※	計
9	15	18	42

※決算確認中の病院を含む

令和9年度末電子カルテ導入見込なし・不明の病院の状況について

(5) 未導入理由別

- 令和9年度末導入見込なし・不明の54病院のうち、**東京都からのアプローチで検討中の医療機関**が12か所
- **建て替えや系列病院の更新のタイミングで導入見込み**であるが、令和9年度中に確実に導入できるとは言えない病院が11か所

区分		病院数	事例
導入見込なし	検討中	12	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のメリットがわからないほか、ランニング含むコストがかかり、セキュリティ面の不安、紙でないと対応できない職員への対応などがあり、院として義務化にならないと厳しいだろうと考えていた。 東京都から人材確保（これからは電子でないと職員確保が厳しくなる）などの導入メリットや国の動き、東京都全体の導入状況、高齢者受入体制確保事業などの説明を受け、初めて聞いた情報もあり、ご検討いただくこととなった。
	経営状況	4	<ul style="list-style-type: none"> ・3期連続の赤字で導入厳しい。 ・看護師不足で施設基準を満たせず、電子カルテまで回らない。
	費用面（全般）	7	・補助金があるのは理解しているが、導入にコストがかかり入れられない。
	費用面（ランコス）	3	・導入に補助金はあっても、保守などランニングコストが大きいので導入できない。
	電子カルテ機能面	3	・精神科に見合った機能の電子カルテが見当たらない。クラウド型で価格に見合ったいい製品が出てくれば導入したい。
	困っていない	2	・治験専門の病院のため困っていない。
	不明	12	・理事長でないと見込みや意向はわからない。東京都が直接話を聞きたい意向は伝えている。
令和10年度以降に導入予定	建て替えのタイミングで導入予定	5	・ここ数年での建て替えと併せての導入予定のため、確実に令和9年度中に導入できるとは言えない。
	系列病院と同タイミングで導入予定	6	・系列病院の電子カルテ更新のタイミングで導入予定のため、確実に令和9年度中に導入できるとは言えない。
計		54	